

このたび、本誌編集委員（Editor in Chief）を今年3月末で退任いたしました。三輪書店編集部の皆様、一緒に本誌を企画してきた編集委員の皆様、そして読者の皆様には、長きにわたって大変お世話になり、ありがとうございました。本誌上をお借りし、あらためて感謝申し上げる次第です。本誌との関わりは、1996年（本誌9巻）に金先生、福武先生と一緒に編集幹事を担当してからになります。当時の編集幹事の役割は、企画編集への支援、協力に加えて、特に年1回発刊してきた特大号の企画が主な仕事でした。当時、私たちが企画編集した特大号には、「画像診断—Up to Date」（10巻）や「脊椎 instrumentation」（11巻）、「腰痛のすべて—Up to Date」（13巻）、「MRIのすべて—Up to Date」（14巻）などがあります。多くの方々にご愛読いただき、少しでもお役に立てていれば嬉しい限りです。そして、2001年（14巻）に正式に編集委員に加えていただきましたが、当時の編集委員は、田代・阿部・井上・国分・菊地・米延・鎧・岩崎・金・花北先生に私を加えた総勢11名でした。2006年からはEditor in Chiefを命ぜられ、編集責任者として微力ながら努力して参りました。編集幹事の仕事に就いてから早20年となりますが、あっという間の20年でした。この間、脊椎脊髄外科領域において読者の皆様とその時代で求めている、知りがっている医学情報を、それも最新情報を集め、わが国で実際に活躍されている現役の先生方を中心に執筆をお願いしてきました。企画にあたっては各編集委員の方々も真剣に取り組んでいただき、日本でいちばんの素晴らしい脊椎脊髄外科雑誌として発信し続けてきたと思っております。

さて、今回の素晴らしい特集号を企画いただいた編集委員の花北先生には、脳神経外科領域の責任者として取りまとめたいただき、本誌連載のイラストレイテッド・サージェリーを集めて創刊した『脊椎脊髄の手術 第Ⅱ巻』の編集も一緒に携わることができました。さらに、専門医制度でも当時の“ベルリンの壁”以上に大きな壁があった整形外科の日本脊椎脊髄病学会と脳神経外科の日本脊髄外科学会が一つの評価基準で専門医制度を構築できたことは画期的なことであり、これもひとえに花北先生との強い信頼関係があったから成し得たものと感じています。患者さんにとっても、脊椎脊髄外科領域で専門性が一本化できたことは益すること大であり、今後のさらなる発展を期待したいと思います。

最後に、本誌のさらなる発展とともに、読者の皆様のますますのご活躍を祈念して私の最終寄稿といたします。本当に長い間ありがとうございました。

（戸山芳昭）

脊椎脊髄ジャーナル

編集顧問

長島親男 小野啓郎 萬年 徹
高橋 昭 金田清志 小山素磨
小柳知彦 田代邦雄 国分正一
服部孝道

編集委員

戸山芳昭（編集委員長）
青木茂樹 安藤哲朗 金 彪
園生雅弘 高安正和 田口敏彦
谷 論 徳橋泰明 花北順哉
飛驒一利 松山幸弘 山崎正志
米延策雄

Vol. 29 No. 5
(2016年5月25日発行)

毎月1回25日発行

1部定価（本体2,300円＋税）

（配送料別）

年ぎめ予約購読料 30,700円＋税
送料弊社負担

発行／株式会社 三輪書店
代表者 青山 智

〒113-0033

東京都文京区本郷6-17-9

本郷網ビル

TEL 03-3816-7796

FAX 03-3816-7756

URL <http://www.miwapubl.com/>
（担当：山岸）

印刷所／三報社印刷株式会社

TEL 03-3637-0005

広告申込所／

（株）文栄社

TEL 03-3814-8541

（株）ハイブリッジエージェンシー

TEL 03-3814-0089

本誌の内容の無断複写・複製・転載は著作権・出版権の侵害となる場合がありますのでご注意ください。

Published by MIWA-SHOTEN Ltd.
6-17-9 Hongo, Bunkyo-ku, TOKYO © 2016,
Printed in Japan

JCOPY 〈出版者著作権管理機構 委託出版物〉

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（電話 03-3513-6969、FAX 03-3513-6979、e-mail: info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。